

「厚生功労者富山県知事表彰」受賞して

厚生連高岡病院 臨床検査部

柴田正信

この度、令和3年5月29日富山県医師会館にて、厚生功労者富山県知事表彰を受賞しました。これも偏に、勤務先の厚生連高岡病院・臨床検査部の方々や社団法人富山県臨床検査技師会の皆様のお陰だと思っております。長年の技師会役員活動が評価されたことを光栄に思い、以下に振り返ってみたいと思います。

最初の役員は、1995年4月より6年間一般検査研究班の班長をしました。班長の仕事は年数回県内の勉強会を開催すればよいと思っていましたが、様々なことがありました。毎年中部学会が開催されるのですが、そこでは各研究班企画があり、必ず担当項目がありました。演題発表の座長もあり、また、2年目には、富山県で、中部学会が開催され研究班企画の作成を担当しました。4年目には中部地区の研修会を高岡市の農協会館で開催しました。前年から実行委員会を立ち上げ県内の各施設から何人か委員を出してもらい、計画を進めていきました。一般検査研修会の大変なところは、当時は講演だけでなく実習もしなくてはならないことでした。顕微鏡の準備や検体の標本を集めるなど色々と大変でした。また当時は、尿沈渣検査技術の均一化を進めていた時期でもあり、研修会の実務委員を10回以上したと思います。この経験から各県の班長さんや県内の各施設の方と交流することができ人脈が広がったことが大きいと思います。

次の役は、2006年から副会長を10年間勤め、2006年から2011年までは宮本会長で、2012年から2015年までは今村会長でした。副会長は、会長の補佐役ではありますが、担当があり私は、精度管理協議会の副会長を務め年2回の協議会の進行と、報告会の司会を担当していました。協議会は医師会の先生もいらっしゃるため、色々なご指摘があり、特に会計については、細部の把握がされておらず、自分の至らないところが多々あったことを痛感しました。また、宮本会長の時期までは、中部地区の理事会に副会長も参加しており、年2～3回は名古屋に出張していました。その時もまた各県の理事の方と親しくなり人脈が広がったと思います。

2008年には富山市で中部学会が開催されました。私は学会の実行委員は未経験だったので、大役は任されなかったのですが、大変なこともあり、他の幹部と会議や打ち合わせを多くしたのを覚えています。2年ぐらい前から準備をするのですが、月日があっという間に過ぎ去って、開催当日が来てしまったような気がしました。

2012年には、血液検査研究班の班長を引き受ける人がいなく、2年間引き継ぐことになりました。そして、翌年の3月に中部地区研修会をすることになりました。場所は高岡市のクルン高岡で開催しました。血液検査は、実習はなかったのですが、沢山の方に参加いただき大変盛況でした。また、会計を日臨技に報告しなければならず、会計についてはかなり気をつかいました。

2014年には2度目の中部学会が巡ってきました。この時は、実務委員の役割や配置を担当しましたが、やはりいろいろ大変で、何とか仕事をこなしていました。

今振り返ってみると、長く役員をやってきましたが、多くの知り合いもでき、また、沢山の人に支えられながら続けられたことに感謝いたします。